



水と人が奏でるハーモニーのまち

宝達志水町

議会だより



新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

- 県内初「新型コロナウイルス感染症
対策特別委員会」設置 2
- 第1回臨時議会・第2回臨時議会 . . . 5
- 令和2年第2回定例会 7
- 「町政を問う」一般質問（7名） . . . 9

第61号

令和2年（2020年）

8月1日発行

石川県宝達志水町議会

感染拡大に備え、町民生活を守る調査を行うため

県内初の「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」を設置

議会に「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」を設置しました

4月24日、第1回新型コロナウイルス感染症対策特別委員会（以下、特別委員会）が開催され、特別委員会を12名の全議員で構成すること、特別委員会の任務（町民からの聞き取り、新型コロナウイルスの町民への影響調査などを行い、町政に反映させること）を確認しました。

この委員会の委員長に守田幸則議員、副委員長に塚本勇仁議員を選任しました。

特別委員会設置と同日に行われた臨時議会では、次のことが決定されました。

①全町民に10万円の特別定額給付金支給の決定。
(5月18日受付
8月17日受付終了)

②町業者の方々に、融資制度利用の際の信用保証料の補助制度の創設。

③テイクアウト・デリバリー事業への補助制度などの予算が可決。

④教育長と教育委員の任命・承認、固定資産評価委員会委員の任命と承認。

第2回 新型コロナウイルス感染症対策 特別委員会開催 (4月30日)

4月30日の段階では、県内で新型コロナウイルス関係の特別委員会を設置した議会は宝達志水町だけでした。そういう中で開催された第2回の特別委員会は、議員が町民からの訴えを聞き取ったり、調べたりしたことを町長をはじめとする町執行部に質問したり、提案したりする形で進行しました。

第2回特別委員会の 特徴的な出来事

市場に出回っているマスクが少ない中、県外の業者を探し出し、一世帯3枚のマスクを調達しました。しかし、大型連休を前にした郵送での配布が大幅に遅れる状況を見越し、町執行部からの心配が特別委員会に率直に寄せられました。議会側から「集落の各区長さ

んにお願ひすれば、配布に協力してもらえて、迅速に配布できる」と提案。議会が、忙しい区長さん方にお願ひすることの「責任を請け負う」としたのです。その結果、国のマスク配布の遅れと違い、数日での全世帯配布完了となりました。町民の方々の意見を聴取した議会からの提案と区長さん方はじめとする集落の方々の協力、そして縁の下の方たち町職員の長時間のマスクの袋詰めが実りました。



議会側からの提案と 町の答弁

議会①

PCR検査の数を増やし、感染の拡大を防ぐために検体採取する検査センターを設置することを県に求めてほしい。長野県やその他の都県にも独自の検査センターがどんどん作られている。

町①

石川県にこの特別委員会として、そのような意見が出たという事を伝える。

特別委員会からの要請などがあり6月になって、石川県は検査センターを設置することと検査機器の購入を決めたが、能登地域にはまだ、検査センターを設置していない。

議会②

感染を避けるため、パソコンを通しての授業（オンライン授業）ができる環境づくりを進めてほしい。

町②

(今は検討課題だが)今は学校の担任から、予習のためのDVD作成の準備をしている。

議会③

大学生や専門学校生はアルバイトをすることを前提に進学しているわけだが、コロナ禍でアルバイトができず、2割近くの学生が退学を考えていると報道されている。宝達志水町出身の学生には何とか学業を成就できるよう、支援を国や県にも働きかけて実施を迫ってほしい。

町③

直接、町が専門学校生や大学生を支援するというのは、難しいと考えている。国の制度ができたので利用してほしい。

当日の答弁は冷たい答弁であったが、国の給付制度を利用できる条件のある学生は全学生の1割程度だということが判明。これでは間尺に合わないと考えた議会と行政は、次の臨時議会

で専門学校生、大学生、大学院生への支援事業費を打ち出した。

議会④

介護保険のデイサービスなどがしばらく休業になっている中で、直接、対象者の家に向いて介護専門員の方々がいる。この方々への特別な手当てを考える必要があると思うがいかがか。

町④

介護事業所などへの支援を考えていきたい。

**議会⑤**

国の制度で持続化給付金制度があり、県には休業協力のための支援制度があるが、前年同月比5割の減収などの条件だ。しかし、3割減収したら廃業だという業者が相談に来る。国や県の支給の枠に入りきらないが、放置しておく、廃業するところがある。ここに手をあてる必要がある。県内の他市町でも、そういう制度作りが始まっている。

町⑤

他の市町の例も見ながら、考えていきたい。

議会からのこの指摘を受けて、行政は次の臨時議会に国の持続化給付金対象外の町内の中小企業及び個人事業主への「地域づくり緊急支援給付金制度」や「ウイルス感染対策防止資材の購入費の補助金制度」を提案(全員賛成で可決)した。

議会⑥

コロナ対策で、救急隊、宝達志水病院の医師など医療従事者の方々は、危険な中で従事しており、大変な苦勞をされている。そういう方々への手当の創設を考えているのか。

町⑥

町では、特別手当に関する支給条例があるが、その中には現在、感染症に従事する職員への手当は記載されていない。石川県や他の市町で新たな手当の支給決定がされているところがあるので、その事例を参考にしながら、手当の条例改正を考えている。

議会⑦

現在、ポイントカード会への加盟店舗数は41件というところで約7割が加盟している。大きい店舗でも加盟していないところもあると聞いているが、加盟していない事業主への支援策は考えているのか。できるだけ多くの方を支援していくのが妥当ではないか。

町⑦

加盟していない店舗も救済していくことが当然であるので、どのようなものが適切か検討していきたい。

「このように、議会の特別委員会が町民の要望を聞き取り、その要望を不十分さを残しながらだが、行政が受け止めている様子が見られます。どうか、特別委員会の議員へ皆さんの要望を多数、お寄せいただきますことを重ねてお願いします。」

(守田)



第3回 新型コロナウイルス感染症対策 特別委員会開催 (5月19日)

5月19日の特別委員会は、国から地方へ配分される新型コロナウイルス対策の特別交付金（宝達志水町は9,275万円）の配分が決定し、その使い道について、議会が町民から聞き取った意見や要望に基づいて開催されました。

第3回特別委員会の 特徴的な出来事

国からの宝達志水町への第1次の新型コロナウイルス感染症対策の交付金額が決定したことを受けて、議員全員が一致して、「スピード感をもって、コロナ対策の予算を臨時議会に提案すること」を求めました。

9日後には国からの予算の使い方を決める臨時議会が開催されました。

議会側からの提案と 町の答弁

議会①

まだ分かっていない感染症だが、国の専門家会議の情報等を収集し、新型コロナウイルス感染症という病気の特徴に応じた対策をたてる事が大事である。医療専門家を含めた対策室の設置を。また、このコロナを利用したヤミ貸金商法（給与ファクタリングなど）の情報をも町民に知らせる部署が必要である。町が新型コロナウイルス感染症にどう対応していくのかの方針が見えない。

町①

「対策室」の設置は考えていない。悪徳商法などの情報は町民に知らせることが大事だと考えている。

議会②

全国沿岸漁民連絡協議会が衛藤農林水産大臣に、新型コロナウイルスによる売り上げの減額分の直接手当を要求し、固定費の支援を要請した。宝達志水町も漁業の町。漁業への新型コロナウイルスの影響を調査し、助成制度を創設すべきである。

町②

現金の給付などは国の支援を受けながら、しっかりと取り組んでいく。

議会③

他市町の小中学校では休校中は午前中に勉強し、昼食を食べさせてから家へ帰すために若い夫婦から「職場からご飯を食べさせにいったん家に帰らなくても済む」といって喜ばれている。なぜ、宝達志水町はできないのか。また、どのようにに授業を再開するのか。

町③

給食を作る業者が新型コロナウイルス禍の下、休業しているという問題もある。また、

新型コロナウイルス感染症について 要請・申し入れを行いました

4月17日、柴田議長は寶達町長を訪ね、全国的に拡大した新型コロナウイルス感染症の拡大予防を図るようマスクの確保と配布について強く要請しました。

5月22日、柴田議長、塚本副議長は寶達町長に対し、議員報酬を10か月間、10%削減することとし、削減し

た337万円余りを新型コロナウイルス感染症対策の事業費に充て、町民の皆さんに有効に使っていただくよう申し入れをしました。



▲町長へ申し入れをする柴田議長・塚本副議長

現在子どもたちにはDVDで授業のポイントを絞った予習を視聴してもらっている。しかし、それで終わりとはしない。授業が再開されたら、もう一度おさらい的にDVDの内容を理解してもらいうことを重視しながら進めていく。また、スクールカウンセラーの活用もしていく。

議会④

新型コロナウイルス感染症対策では国や県の施策があるが、町独自の中小企業支援も必要だが、財政上それは可能なのか。

町④

国からも特別の給付金がきている。第2弾、第3弾の町民への支援策を計上し、早く臨時議会を設定することが大事だと考えている。

第1回臨時議会

(4月24日)

第1回町議会臨時議会が開催され、新型コロナウイルス感染症対策の対応等に係る補正予算2件、条例1件、契約1件が可決されたほか、人事案件6件が同意されました。

○補正予算の主な内容

新型コロナウイルス感染症対策

・特別定額給付金給付事業費

13億254万円

全町民に、1人つき10万円を給付する。

・新型感染症対策事業費

358万円

町内全世帯にマスクを3枚ずつ、3歳から中学3年生までは追加して配布する。

・商工業貸付金・利子補給事業

100万円

信用保証料の補助を行う。

・テイクアウト・デリバリー事業

100万円

飲食業等のテイクアウト・デリバリー事業の取組を支援する。

○契約関係

財産の取得

・旧押水放牧場の一部を取得

○人事関係

・教育委員会教育長の任命

細江 孝氏（敷浪）

（任期は、令和4年5月9日まで）

・教育委員会委員の任命

松田 健太氏（小川）

（任期は、令和2年5月10日から4年間）

・固定資産評価審査委員会委員の選任

島田 秀和氏（聖川）

寺分 努氏（小川）

柏崎 祐一氏（宿）

（任期は、令和2年5月9日から3年間）

第2回臨時議会

(5月29日)

第2回町議会臨時議会が開催され、新型コロナウイルス感染症対策の対応に係る補正予算2件、条例2件が可決されました。

また、議員発議による「宝達志水町議会議員の議員報酬の特例に関する条例について」が提出され、全員賛成で可決されました。令和2年6月1日から令和3年3月31日まで、議員報酬の月額を10%減額するものです。

○補正予算の主な内容

・子育て支援事業費

3315万円

高校生以下の児童生徒に1人あたり2万円分の商品券の配布、児童扶養手当受給世帯には2万円を上乗せ支給する。

・大学生等支援事業費

1626万円

大学生等に学費及び休学に要する経費を補助す

る。

・小中学校コンピュータ教育事業費

1億1441万円

児童生徒1人につき1台学習用パソコンを配備する。

・新型コロナウイルス感染症の防疫作業に従事する職員に対しての特殊勤務手当

477万円

・地域づくり緊急支援給付金

5100万円

国の持続化給付金の対象外の企業等に、法人には20万円、個人には10万円を支給する。

・新型コロナウイルス感染症防止資材等購入費補助金

100万円

客と店員を隔てるカーテン等の設置、資機材の導入費用を補助する。

住民の声

・資材等購入費補助金で、客と店員を隔てる透明カーテンや空気清浄機を購入しました。（飲食店）

議員別賛否の状況（賛否が分かれた議案等のみ）

○：賛成 ×：反対 △：退場 決：欠席

件名	結果	岩根信水	勝正人	松浦文治	林 稔	塚本勇仁	土上 猛	柴田 捷	守田幸則	北本俊一	金田之治	小島昌治	北 信幸
議案第34号 財産の取得について（旧押水放牧場跡地）	可決	○	○	○	○	○	欠	－	○	○	○	○	×
同意第1号 教育委員会教育長の任命について	可決	○	○	○	○	○	欠	－	○	○	△	○	×
議案第37号 令和2年6月1日から令和2年7月31日までの間における町長、副町長及び教育長の給料の減額に関する条例について	可決	○	○	○	○	○	欠	－	○	○	×	○	×

第2回
臨時会

議案に対する質疑



北 信幸 議員

町長、副町長及び
教育長の給料の減
額について

質 北 議員

今週、小中学校の児童生徒が、半日、学校へ登校しているが、通学時に子どもたちが「私たちは自粛をしなくても、新型コロナウイルス、あなたが自粛をしなさい」と歌いながら通っている姿を見て、本当にほほえましいなと思いつつ聞いていた。本町としても早々に臨時会を開き、町民のための手当、かなりの金額の地方創生の臨時交付金をいただいている。その中

で、私はもっと町自身にも独自の施策があるのかと思いついて期待していたが、あまり見られないということが1つ残念である。

また、議案第37号については、以前の報道等には副町長、教育長の減額は入っていなかったのに、突如また3役となり、町長は30%、副町長、教育長は10%、期間は2か月間という提案をしているが、この2か月間の根拠を教えてください。

また、30%というのは1つの売名行為ではないかという声も聞かれる。こういった観点からこの条例にこういった期間、数字を入れたのか教えてください。また、売名行為と思つてやっているのであれば、実施することとした。

答 寶達町長

30%を2か月ということについては、現在2割カットしているの、これに3割加えて半分となる。2か月というのは感染が広く蔓延していたようなときがおおむね2か月間であり、それに合わせて、減額も2か月としたところである。

また、副町長、教育長については、それぞれ各自からカットしたいと申し出があり、それぞれ1割ずつ、私と同様に2か月間削減としている。副町長、教育長については、私は当初必要ないと判断していたが、自身から申し出があったので、実施することとした。

また、売名行為と思つてやっているのであれば、実施することとした。

第2回
臨時会賛成
討論！

小島 昌治 議員

町民の声で作られた
予算と条例案に
賛成

(各課が町民の要望を聴取して作ったコロナ対策の予算であり)、予算に対する賛成を表明する。

しかし、問題もある。それは、予算の財源を確保するために、町が持っている基金(貯金)を、405万円充てる予定であったが、それを取りやめたのである。取りやめた理由は「議員らの報酬の減額分(一割の減額を10か月間)を代わりに充てるから」というのである。我々議員はコロナ禍

の下、報酬の減額分を子どもたちへの一層の福祉の増進に使うことを決意し、減額を自ら決めたのである(減額をする際には町長に減額の趣旨も説明している)。町の基金からの減額をやめて、議員報酬分を我々議員が求めた、より子どもたちの福祉充実に充てることを強く求めるものである。

また、今回、専門学校生や大学生、大学院生(社会的状況に対応した)支援金が決められた。大変いいことである。しかし、このいい制度も問題がある。それは28歳という年齢制限を設けたことである。大学院生で28歳を超える方も学部によっては多くいる。この方々が支援金の受給対象にならないのは大きな問題である。改善を求める(その後、仕送りをする保護

者が町内在住で、仕送りを受ける学生が町の出身者ならだれでも支援金を受けられることができるようになった)。

条例の改正案では、新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対処するための防疫等の作業に従事する町職員の特殊勤務手当について定めたものである。賛成である。ただ、新型コロナウイルス感染症と戦いながら、医療や介護を提供している町立病院以外の労働者への支援が求められている。町長は質疑に対する答弁で「今後考えていきたい」旨の答弁を行った。

(町全体の介護や医療の崩壊を食い止めるために)一刻も早い改善を求めて賛成討論とする。

令和2年第2回 6月11日～19日

定例会

令和2年第2回町議会定例会が開催され、補正予算1件、条例4件、契約1件、財産の処分1件が可決されたほか、9件が承認されました。また、農業委員会委員の任命について12件が同意されたほか、人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについては3件が適任とすることに決定しました。

令和2年度補正予算では、一般会計で5,525万円を増額補正し、総額97億1,397万円となりました。

補正予算の主な内容

宝達山頂仮設休憩所の設置

仮設のユニットハウス及びAEDを設置する。



39万円

相見小学校トイレ改修工事

和式トイレから洋式トイレに改修工事を実施する。



2,773万円

心身障害者医療給付の拡大

精神障害者手帳1級所持者を対象に追加する。

令和2年10月から、病院窓口で医療費を支払わなくてもよい対象を65歳以上にも拡大する。



353万円

「黒いちじく」のブランド化

黒いちじく専用のロゴマークやパッケージのデザインを行う。



100万円

議員別賛否の状況 (賛否が分かれた議案等のみ) ○：賛成 ×：反対 △：退場 決：欠席

件名	結果	岩根信水	勝二正人	松浦文治	林稔	塚本勇仁	土上猛	柴田捷	守田幸則	北本俊一	金田之治	小島昌治	北信幸
議案第44号 北大海第一保育所大規模改修工事(建築) 請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	欠	－	○	○	○	×	×
議案第45号 財産の処分について(旧押水放牧場跡地)	可決	○	○	○	○	○	欠	－	○	○	○	×	×

人事関係

○農業委員会委員の推薦

- ・網吉裕(柳瀬)
- ・北武(御館)
- ・下出義晴(坪山)
- ・宮本稔也(二口)
- ・大山幹雄(敷波)
- ・上月正美(下石)
- ・中村勤(北川尻)
- ・森本信良(走入)
- ・岡野茂(宿)
- ・島田清一(聖川)
- ・松井良久(南吉田)
- ・柳橋正弘(河原)

○人権擁護委員の推薦

- ・國井勤(菅原)
- ・井上恵子(所司原)
- ・津田悦子(敷浪)

6 月
定例会

議案に対する質疑



北 信幸 議員

地域の環境が
守られた契約を

質 北 議員

旧押水放牧場跡地の売却について質疑する。

町の畜産業の活性化と

言っているが、住民が困

るような施設を活性化と

呼ぶのか。企業誘致に匹

敵するような17万㎡もあ

る地面である。売却価格

は約3800万であるが、

るのはいかがか。2棟の
鶏舎が建てられるが、そ
の後多くの鶏舎が建設で
きないように契約を結ん
でいただきたい。

また、測定器で測って

も数字が出ないといった
苦情がたくさんあるなか

で、地域に生活している
方々が人感で匂いが分か

った時には即刻営業停止
し、対応していただくよ

うな内容を盛り込んで今
後本契約をしていただく

ことをお願いをする。

答 寶達町長

建物の現在計画以後の
増築等について、すでに

仮契約を結んだという状
況であり、今後、どのよ

うな利用がされるのか、
注視して見ていく。今

後の経営についてもしっ
かりと守っていくように

お願いをしていく。

質 北 議員

今後、注視していきた
いとのことだが、事が起

きてからでは遅い。あえ
てそういったものをうた

つていただきたい。きつ
ちりと約束を交えながら

今後進めていただきたい。

答 寶達町長

地域の良い環境が守ら
れていくように、また迅

速に対応が図られるよう
求めていく。

質 北 議員

現時点で、将来的には
増築を控えていただきたい

ということを明記し、
その中で地域の方が迷惑

しないという証があれば
ということを書いていた

だけばいいのでは。

答 寶達町長

事業の変更があれば事
前に説明を求めること、

また環境に対する配慮は
なされているのかを確認

し、環境が守られるよう
取組んでいく。



小島 昌治 議員

町民の快適な環境
と安全な保育所作
りを

質 小島議員

今定例会で追加された
2つの議案について質疑
する。

第1の質疑は、北大海

第一保育所の改修工事に
ついてである。町民誰も

が望んでいる保育所の改
修工事は賛成であるが、

(工事に根本的)問題が
ある。それは「平屋建て」

という工事だからである。
昨年、石川県管轄の2級

河川による近辺への浸水
調査を行った。昨年の千

曲川をはじめとする河川
の決壊は「想定外」と言

われ続けている。ところ
が、宝達志水町では2級

河川が多く流れているが、
石川県は子浦川しか調査
をしていない。その浸水

結果に基づいて宝達志水
町では志雄地域の中央保

育所の建て替えが町の判
断で延期になっている。

ところが、今回、北大海
第一保育所近くの2級河

川の前田川の浸水調査を
していないのに「平屋建

て」である。浸水調査を
していないなら危険を回

避し、せめて2階建てに
建て替える必要がある。

改修は賛成だが、平屋建
てに賛成できない。

第2の質疑は県から買
収した旧押水放牧場跡地

を、そのままの値段で養
鶏場を目的とする業者に

売却するという事につい
てである。売却する業者

は養鶏という大事な仕事
をしていると認識してい

る。しかし、養鶏場には
近隣住民に「臭い」で迷

惑をかけるという問題が
これまであった。その

時は、住民が食事をとる
気もなくすほどの臭気で

あったのに、「県の迷惑
条例違反にならない」と
判断され、住民からは「い

い加減な迷惑条例だ」と
言われたものである(県の

迷惑条例はそれ以後、
厳しくなっていない)。

町が売却するのだから、
住民を臭気で困らせない

保障をどこに置くのか。
これが大切である。これ

が明らかにならない限り
売却に賛成できない。

答 寶達町長

確かに石川県は前田川
の調査はしていない。北

大海第一保育所は前田川
より少し高いところにあ

り、これまでも水害の被
害もない。また、住民の

現状地での早い改修とい
う要望に従った。

土地の売却については、
県の(迷惑条例の)基準

に至らないでも、町とし
てしっかり対応していき

たいと考えている。

町政を問う

議員7人が一般質問

一般質問とは、議員が町政全般にわたって、町長などの執行機関に対して事務の執行状況や将来の方針などについて質問し、説明・報告を求めるものです。

	ページ
■松浦 文治 議員	10
・避難所における新型コロナウイルスへの対応は	
・オンライン面会ができる環境づくりを	
(その他の質問) 宝達志水町のデジタル化の状況は	
スポーツ施設での新型コロナウイルス感染予防対策は	
■岩根 信水 議員	11
・オンライン授業の取組を!	
■守田 幸則 議員	12
・新型コロナウイルスによる町内企業の影響は	
・小中学校での新型コロナウイルス防止対策は	
(その他の質問) 学校における働き方改革の推進を	
■林 稔 議員	13
・公共施設・自治体窓口におけるキャッシュレス決済導入を	
・GoToキャンペーンの地域経済の振興のために積極的な施策を	
■勝二 正人 議員	14
・細江教育長の教育方針を問う	
・スポーツコミッションをどのように高めていくのか	
(その他の質問) 出水期を迎えるにあたり、今後のため池の安全対策は	
■塚本 勇仁 議員	15
・豚熱への対策は	
■小島 昌治 議員	16
・コロナ感染の第2波に備えて医療・介護崩壊を防ぐ施策を	
・学びと心身のケアの保障を	
(その他の質問) 新型コロナウイルスから町民の暮らしをまもるために	



松浦 文治 議員

避難所における 新型コロナウイルスへの対応は

適切な感染予防への
体制整備を実施する

問 松浦議員
4月に、国から都道府県の防災担当や衛生担当に対して、避難所における新型コロナウイルスへの対応について通達が出され、その中で、避難所運営に対して様々な配慮を求めている。これを元に、石川県でも方針や計画が出され、それらを元に宝達志水町としての

方針や計画が策定されるのだと思うが、実際に町民に一番近いところで対応に当たるのは町の職員であり、宝達志水町でもある程度、避難所運営のシミュレーションや想定をしておく必要があるのではないかと。通達の中に、避難所が過密となることを防ぐために、親戚や友人の家等への分散避難の検討を周知するようという部分があったが、私としては、新型コロナウイルスの感染が騒がれている中で、親戚や友人など他人の家に受け入れてもらえるのか、逃げるのが現実的なのかという点が引かなかった。地域防災の専門知識を有する防災士の資格を持つ町長としては、4月に出された国からの避難所運営についての通知にこういった所感をもったのかお聞きする。



▲防災訓練の様子

答 寶達町長
国からの周知事項を踏まえて、感染症対策を避難所運営に関する重要な課題として取組んでいく必要がある。避難所において、十分なスペースを確保するための収容人数の制限や、換気や衛生管理、そして健康状態の確認や発熱・咳等の症状がある方、感染症に罹患した方への対応など課題は多くあるが、適切な感染予防がされる体制整備を実施したいと考えている。

オンライン面会ができる 環境づくりを

助成金などの周知を行っていく

問 松浦議員

隣の市で新型コロナウイルス感染のクラスターが起こったが、本町の宝達志水病院や町内の高齢者施設の新型コロナウイルス感染防止策は、こういったことを行っているのか。

また、全国で入院患者や入所者との面会が制限されており、オンライン面会が推奨されている。家族、施設双方の心のケアに繋がることから、宝達志水病院や町内の高齢者施設で、オンライン面会ができる環境づくりをしてはどうか。

答 寶達町長

高齢者施設の感染防止対策については、厚

生労働省の『高齢者介護施設における感染対策マニュアル』や施設の特性に留意した独自の取決めによる対策を講じている。

オンライン面会の環境づくりについては、新型コロナウイルス感染症対策助成金などの周知を行っていく。

答 松田病院事務局長

病院に陰圧式エアータント一式の寄贈があり、今後、感染症対策に活用していく。

病院では現在、タブレット型端末機2台を用い、家族と患者さんが顔を見て会話できるオンライン面会を実施している。

一般質問

「町政を問う」

(町政全般にわたる質問)



岩根 信水 議員

オンライン授業の取組を！

各家庭と学校の環境を
併用し対応する

問 岩根議員

新型コロナウイルス感染症の影響で社会ではリモートワークやオンライン会議が普及している。また、オンライン帰省やオンライン飲み会など今までになかったコミュニケーションツールとしてICT（情報伝達技術）が活用されている。大学や一部の高校でもオンラインによる授業を始めていることは周知の通りである。

5月補正によりGIGAスクール構想対応の予算が計上されているが、環境が整うのは



本町だけではないが、小・中学生は現時点でおおよそ3か月程度、授業が遅れている。そのため、学校を9月始まりにするという案も出ていたが、現状では全

いつ頃なのか。カリキュラムはどのようなになっているのか。を教えてください。

のんびり進める余裕はない。特に中学3年生は高校受験を控えている。GIGAスクール構想が早期に動かないのならば、せめて中学3年生を対象に、コロナの第二波、第三波があると仮定して現状でできるオンライン授業の環境を早急に整えるべきであると考えている。いかがか。

答 細江教育長

5月補正に計上したGIGAスクール構想の予算は、校内通信ネットワークの整備、児童・生徒1人1台端末の整備、ICT支援員の委託の3項目である。

1つ目の校内通信ネットワークの整備は普通教室、特別教室及び体育館に無線アクセスポイントを設置し、教室等でインターネット

や動画を使用できるようにするものであり、2つ目の端末整備は、児童・生徒に1人1台の端末を整備するもので、環境が整うのは年明け以降になるものと想定される。

このGIGAスクール構想が整備されれば、「子どもたち一人一人の反応を踏まえた双方向型の一斉授業が可能となること」、「一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習が可能となること」、「一人一人が記事や動画を集め、独自の視点で編集でき、各自の考えを即時に共有し、共同編集できる協働学習が可能となるが、オンライン学習ができる環境が整備される訳ではない。

現状、自宅でオンライン学習を実施するためには、端末及び通信環境を家庭で準備していただく必要がある。以上のことから、中

学3年生を対象にGIGAスクール構想整備の前に、再び新型コロナウイルス感染症の影響に対応するには、個人所有の端末や通信環境を使用し、未整備の家庭においては、学校にてパソコン教室の端末を使用し、教室を分散し授業を受けられるような対応を図りたいと考えている。





守田 幸則 議員

新型コロナウイルスによる 町内企業の影響は

今後も商工会と情報共有し
状況把握に努める

問 守田議員
本町における各事業者の現状をどのように調査され把握しているのか。国、県がそれぞれ資金繰り対策を初め様々な経済対策を講じている。本町でも補助金や支援等の予算計上をしてきたが、どの業種もなかなか先が見えずに苦労している現状で、さらなる支援や経済対策の計画はあるのか。

答 寶達町長

町内業者の現状把握は商工会との情報共有により行っている。

さらなる支援については、ほっぴーさんポイントを活用した施策の充実を主軸に進めていきたいと考えている。ポイントの活用は、消費者である会員と加盟店の双方への支援となり、地域経済への波及効果が期待される。

問 守田議員

一定の企業だけでなく、町全体が支援、補助を受けることが大事であり、今後も状況に応じた新たな施策を速やかに講じてほしい。

答 寶達町長

幅広い業種、多くの事業者の方に目を向け、中身の分かりやすい、利用しやすい支援を考えていきたい。

小中学校での

新型コロナウイルス防止対策は

検温や体調管理の徹底を

指導している

問 守田議員

6月1日から小中学校が通常再開され、児童・生徒が安心して学べるようまた、保護者が安心して送り出せるよう町としてしっかりと感染防止対策をとる必要がある。

スクールバス利用時、

校舎内外及び授業中の教職員・児童生徒の防止対策は、どのように行っているのか。

長期間の休校により児童生徒に何か変化等無かったか。不足した授業時間をどのように確保するのか。

答 細江教育長

スクールバス乗車時には、マスクの着用や会話を控えること、バス内には手指消毒液を配備している。学校内では、教室の机の間隔を開け、常に換気に努めている。

学校再開後の児童生徒の様子は、特別な変化はなかった。

不足した授業時間については、主要教科の時数を増やし、また、夏季休業期間中には、計19日間の授業日を設定することとし、授業の遅れを取り戻すことにしている。

問 守田議員

長期間の休校により、不登校の児童生徒はいらるのか。

授業時間の不足分を年度内に補えるのか。

答 細江教育長

長期間の休校により、不登校になった児童生徒は現在いない。授業日数については、夏休みを活用し8月末には、通常より5日間授業日数が足りない計算となるが、その中で個に応じた教育を充実していく。



一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



林 稔 議員

公共施設・自治体窓口における キャッシュレス決済導入を

公共窓口でキャッシュレス決済に
併せて導入を検討

問 林議員

現在、宝達志水町では各種料金、手数料などの支払いは現金を中心にを行っているが、住民から公共施設や自治体窓口でのキャッシュレス化を望む声が聞かれる。

公共施設・自治体窓口におけるキャッシュレス決済導入について、今後の計画を示されたい。

答 寶達町長

本町は令和2年4月15日に、経済産業省よりキャッシュレス化を進める「モニター自治体」に選定されている。今後は経済産業省の導入手順に沿って、導入対象窓口やキャッシュ



ユレス決済手段の選定等を行い、行政事務の効率化及び住民の利便性向上を目指して取り組んでいきたいと考えている。

PayPay等スマートフォン決済による公共料金などの支払いについて、本町においても、公共窓口でキャッシュレス決済に併せて導入を検討したいと考えている。

Go To キャンペーンの地域経済の 振興のために積極的な施策を

必要な対応を積極的に行っていく

問 林議員

政府が7月下旬をめぐりにコロナ禍で疲弊している旅行業や飲食業、イベントエンターテインメント業を支援する「GO TO キャンペーン」を開始する方針であるが、本町においても地域経済の振興のために積極的な施策が重要と考えるが、官民それぞれにどのような取組が必要と考えるか。

答 寶達町長

国は新型コロナウイルス



ルス収束後に期間限定で、観光・運輸業、飲食業などを対象に官民一体型の消費喚起キャンペーンを実施することとしている。

事業の概要としては、旅行代金の半分相当のクーポンや飲食店で使用可能なポイントの付与、プレミアム付食券の発行、商店街におけるイベント開催、プロモーション、観光商品開発等が見込まれている。

キャンペーンに向けた対応として、飲食関係であれば事業者の予約サイトへの登録が必要であるが、本町では未登録の飲食店が多いため飲食店組合等への働きかけが必要と考えられる。

その他、大きな効果に確実に繋がられるよう、民間事業者と連携し、キャンペーン開始までに必要な対応を積極的に行っていく。



勝 二 正 人 議員

細江教育長の教育方針を問う

町民を中心に据えた教育行政を進めていきたい

問 勝二議員
本町の小中学校は、いずれも小規模な学校ではあるが、それぞれの学校が地域に根ざし親しまれ、子どもたちが伸び伸びと育つ。これが我が町の教育環境の特徴の一つと考える。細江教育長は本町の教育環境の特徴をどのように考えているのか、また今般のような長期の休校が必要となった

際に課題となる学習の保障など、どのような教育に取り組んできているのか。
小規模な学校であることを活かした個性的な学校づくりと、これを通じた地域の活性化を両立する対策も必要になると思うが、考えを示されたい。

答 細江教育長

子どもたちを始めとする町民の方々を中心に据えた教育行政を進めていきたい。

今は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために、様々な制約はあるが、学ぶことの意義が実感できる個の可能性を伸ばす教育の推進をしていきたいと考えている。

方針を実現するには、様々な課題はあるが、それらの課題に真摯に向き合い、できないとあって、取り組まないのではなく、今、できることは何かを考え、

教育行政を進めていきたい。

個性的な学校づくりと地域の活性化を図る取組については、ふるさと教育の充実が図られており、押水第一小学校や宝達小学校でのアサギマダラをテーマにした自然学習、相見小学校の末森城をテーマとした歴史学習、志雄小学校では米作りからオムライス調理に至る食育学習を、地域の方の協力をいただきながら行っている。現在各校では、地域の人材を有効に活用し、宝達志水町の良さに気付き、生涯にわたり郷土を愛する人材育成に努めている。



スポーツコミッションを どのように高めてくのか

有識者などを招き
シンポジウムを開催する

問 勝二議員

スポーツコミッションについて、概要を示されたい。

観光協会や商工会などの民間団体と連携して活動する組織とあるが、今年度の成立を目指していたDMOとの違いは何か。

組織の設立のため、体制整備をどの様に進めていくのか。

また、多くの町民にとってなじみの無い事業であるが、どの様に関心を高めていくのか示されたい。

答 寶達町長

通年的な誘客の仕組みや、スポーツツーリズムの環境を構築することで、宿泊、飲食、

観光、物販等の分野での経済効果、雇用の拡大等の社会的効果の創出に貢献し続けることがスポーツコミッションの意義であり、DMOとは、スポーツがメインか観光がメインかの違いがある。

体制整備については、関係する体育協会、宝達志水スポーツクラブ、観光協会及び商工会等の協力を得て、設立したいと考えている。

町民に理解を深めてもらうため、シンポジウム等を開催し、有識者、著名人を招くなどして、多くの方に関心を持っていただけるよう工夫したいと考えている。

一般質問

「町政を問う」

(町政全般にわたる質問)



塚本 勇 仁 議員

豚熱への対策は

今後も経口ワクチン散布を
継続していく

問 塚本議員

豚熱の発生が26年ぶりに確認された。本町においても下石、向瀬の2か所においてイノシシの検体を検査した結果、陽性と確認され、養豚業者に衝撃をあたえている。

感染したイノシシが確認された場合、確認場所より半径10キロメートル内にある養豚場では、出荷停止または、全頭殺処分されるので養豚業者にとっては大変な損害である。本町には2件の養豚業者があり、3600頭の豚を飼育している。豚熱発生確認後、早急にイノシシの侵入を防ぐため、県、町の補助により電気柵、恒久柵

を設置して、イノシシの侵入を防止して豚に対して感染を防いでいる。その経費にしても大変な金額となっている。

豚に直接ワクチンを接種するのが一番効果的であるが、

それにより豚肉の品質と清浄国と言う国際問題になっていく恐れがあるとして慎重な態度をとっているそうである。

また、県においては、昨年9月から本年5月までの2回、町内において65か所



▲ワナにかかったイノシシ

で経口ワクチンを敷設している。本年度も6月より6回の布設が予定されている。

そこで、ワクチン敷設の効果と食いつき状況でどのような変化があったか。また豚熱の収束がどこにあるとお考えか。

答 寶達町長

豚熱対策として、町内の養豚2業者は昨年度、電気柵や金網柵等による侵入防止対策を

国・県・町の支援事業を活用して行っている。さらに飼育豚へのワクチン接種も行っており、感染予防対策を講じているところである。

並行して行われている経口ワクチンの野外散布は、豚熱の抗体を保有するイノシシが、一定数生息する防疫帯を構築して感染したイノシシの北上を防ぎ、県内養豚場への豚熱感染拡大を防止することを目的とするものであり、本町も含め、県や市町、関係団体からなる「石川県CSF感染拡大防止対策協議会」が主体となって、昨年8月から国の指針に基づいて実施している。

県内の経口ワクチンの摂取推奨率は、有害鳥獣捕獲協力者の協力もいただき散布前に餌付けを行っていることもあって、全国的に高い方である。

なお4月30日に下石地内、5月12日に向瀬

地内で捕獲したイノシシが豚熱に感染していることが判明している。養豚場で感染が確認されれば全頭殺処分という措置になり、こうした事態が発生しない様、今年度実施する計6回の散布を含め、今後も経口ワクチン散布を継続することにより、地域内に生息するイノシシの抗体保有率を上げ、養豚場への豚熱感染を防止していきたいと考えている。

豚熱対策の収束点については国の基準が示されていない状況であるが、県や他の市町、関係団体と連携しながら、養豚場への感染防止を最重要と考え、飼育豚へのワクチン接種など養豚場の防疫対策を始めとする豚熱対策に取り組んでいきたい。



小島 昌治 議員

コロナ感染の第2波に備えて 医療・介護崩壊を防ぐ施策を

状況を注視し、支援を検討する

- 問 小島議員
- (1) 金沢市だけに集中する新型コロナウイルスの検査センターを能登地域にも設置するよう県に働きかけを。
 - (2) 町内すべての医療・介護施設と労働者に町独自の支援・手当を。
 - (3) 羽咋郡市内の病院の



▲感染患者を診察する陰圧式エアートtent

- 答 寶達町長
- (1) 検査体制の充実のためには要請していく。
 - (2) 今は給付金の支給は考えていないが、状況を注視し、検討する。
 - (3) 地域の医療体制が確保されることの配慮を県に要請する。

機能分担を。具体的には志賀町や宝達志水町も分担金を出している羽咋病院に、羽咋郡市の新型コロナウイルス感染者の入院受け入れや発熱外来を担う専門の病院との位置づけを。

学びと心身のケアの保障を

20人以下の学級にする考えはない

(町長)

- 問 小島議員
- (1) 国が実施した「子どもアンケート」の結果から、学校再開には、子ども達の心身のケアを行うことを求めているが町の学校では。
 - (2) 「新型コロナウイルス対策専門家会議」は「新しい生活様式」として「身体的距離の確保」を呼びかけ、人との間隔を2メートル空けることを提起している。しかし、20人を超える学級では1メートル空けるのも困難である。今、子どもたちも保護者も教職員も感染の心配をしている。学校の教室を「新しい生活様式」の例外にするわけに

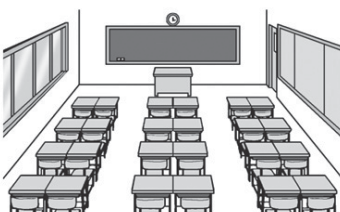
はいかない。相見小学校では3年生と6年生のクラスが、樋川小学校では6年生のクラスが、志雄小学校では3年生、5年生、6年生のクラスが、中学校ではすべての学年で20人を超えている。感染対策をし、しっかり学びを取り戻すために20人以下の学級が必要である。そのため12人の臨時の小中教員の採用を。財源は十分にある。

また、県内で一番高く、子育てを邪魔している上下水道料金がコロナ禍の下、批判が高まっている。それは、「新型コロナウイルス感染拡大

を阻止するために、帰宅後の手洗いとシャワーが推奨されているが、家計収入が減った中でシャワーは宝達志水町ではできない。全国でも県内でも上下水道料金の値下げなどが行われている。この声にどう答えるか。

答 寶達町長

児童・生徒の心のケアが最も大切であると考え、対応している。20人以下の学級における臨時教員の採用については、現在のところ考えていない。また、上下水道料金の引き下げも現在、考えていない。



会期中の 常任委員会等審議

病院運営特別委員会

(6月12日)

問 全国の210の病院で新型コロナウイルスの院内感染がおきている。また、全国の介護・障害者福祉施設などでは70カ所で施設内の感染がおきている。医療・介護崩壊に直結する深刻な事態が起きている。宝達志水病院が深刻な事態にならないようにするには何が必要なのかを問う。

答 ある医学雑誌で、元岐阜大学の学長で、東大名誉教授の黒木登志夫さんという方の論文が最近、掲載された。病院内感染を防いだ全国3つの病院（和歌山済生会有田病院、岐阜大学病院、東京医科歯科大学病院）の取組（コロナ患者に接触した可能性のある人、職員、入院患者のPCR検査を徹底して行った）を紹介している。そして最後に「この

3例を通じて、院内感染の予防にはPCR検査がいかに重要であるかがわかる。しかし、わかっていないのは厚生労働省である。院内感染を防ぐための接触者、職員などへの無症状の人への感染確認の検査は病院の負担になる。厚生労働省が

わずかの予算を渋っていることが病院クలాスターを作り、医療崩壊を招く」と。町がわずかな予算を出し渋り、院内感染を起こすことのないようにするには。

答 院内感染の問題でPCR検査が必要であるなら、病院サイドで必要と判断し、財源の問題で相談があれば、町行政の問題として支援していく。必要なことがあれば、何なりと要望してほしい。

問 今、病院で働く方々に頭が下がる思いだ。この思いは町民すべての思いでもあると考えている。国や県の補正予算での支援もあると思うが、町独自の会計からの支援も考えるべきであり、

それがコロナ禍での医療従事者へのお礼の気持ちにつながる。

答 病院当局と話をし、病院職員が安心して働いていけるよう、支援についても考えていきたい。

問 病院玄関での体温測定が5月末で終了となったが、なぜか。

答 県の「解除」声明もあり、また、病院運営上様々な混乱が生じたので、中断している。今後は県の指導を受けながら、やっていく。

問 病院の4月・5月の経営の悪化の原因は。

答 コロナ禍の下、①整形外科の手術を控えているということ、②胃カメラなど控える人が増えたこと、③外来は薬の処方期間を延ばし、来院する方が減ったことが主な原因である。いずれも、全国的に同じ傾向といえる。

教育厚生常任委員会

(3月15日)

問 北大海第一保育所の改修工事について、コロナ禍により引越などいろんなところで影響はないのか。仮設の駐車場の工事は必要なのか。三密を避けるため仮設の部屋は必要ではないか。コロナの問題が出た状況で、どのようなことをやっているのか。

答 引越については、町健康福祉課職員で行う予定であり、最低限必要なもののみ持つて行き、その他は置き、手間を省きたい。仮設の駐車場は、議決終了後に工事を行っていく。コロナ対策で心配なことは給食だが、時間をずらす、各部屋で食べる等十分注意し対策をとっていきたい。

問 北大海第一保育所の改修予定図を見ると全面改修だと思われるが、その場合、物品を残すと、工事の妨げにならないのか。

答 引越しは、保育士にもお願い

したいと考えている。保育士の軽減負担のためもあり、どういう形にするか打ち合わせをしながらやっていきたい。



▲北大海第一保育所

問 アステラスのエアコン室外機は、点検をしているのか。使用時に急に壊れ、対応が出来ないということのないように点検を行ってほしい。

答 当初予算で健康福祉課側の相談室等のエアコンを修繕している。今回、点検後に社会福祉協議会側のエアコンが壊れたものである。今年も点検を行っており、詳しく見てもらい今後に備えたいと思っている。

問 国民健康保険税の条例改正の対象者の所得は800万円から1,000万円である

と聞いたが、コロナの影響で、所得が減るのではない

か。職業を把握しているのか。国民健康保険税の5割軽減、2割軽減の対象人数の把握はしているのか。

答 職業を把握したいと思うが、個人情報関係で難しい。

国民健康保険税の5割軽減対象人数は5世帯7人の増加、2割軽減対象人数は7世帯10人の増加である。

問 会計年度任用職員制度について昨年、臨時職員だった方に十分な説明、対応したのか。

答 1人ずつ面接を行い制度の説明、質疑対応をした。

問 住民課の特別定額給付金事業において申請されていない人がまだ200人ほどいる。健康づくり推進員からチラシを配布し、申請を促すことはできないか。

答 6月中に健康づくり推進員の役員会を実施する予定で

ある。住民である健康づくり推進員の思いや悩みを伺い、その上で対応していきたい。

問 健康づくり推進員の活動再開について、3密を避けた

感染症対策をしながら熱中症対策も必要である。室内

の活動はエアコンのある環境が必要と思うが、どのように考えているか。

答 すべての会館にエアコンが

設置されていないことは承知している。エアコンのある施設のアステラス、役場の利用を助言していく。また、熱中症対策として、ホットメール・防災無線・チラシで対応している。

問 母子手帳から分かる出生予定の人数はどれだけか。

答 今年度4月から現在までは母子手帳の交付数は17人。

令和元年度妊娠届出数は38人で出生数は39人、平成28年度60人。平成29年度は65人。令和2年4月、令和3年1月出産予定は35人である。

問 相見小学校トイレ改修工事について、工期はいつ頃から予定しているか。

答 工期については、実施設計の業者と学校側も交えて協議し決定したい。また、工事に伴い騒音が出るなど

土・日が主になってくると考えている。



▲相見小学校

問 教育現場から、コロナ対策で消毒液、マスク等の要求を教育委員会として把握しているのか。

また、実際に学校から要望のあった体温計や消毒液、マスクが納入されているのか。その中において、マスクの購入予算が総務課経費

に計上されていたかと思うが、主管はどこなのか。

問 学校の方から要望があった中で、教育委員会として予算要求したものもあり、総務課経費で計上したものもある。町として一括して購入するものと、それ以外に学校として購入する分として予算分けしている。その

中で学校教職員のマスクなどは総務課経費で対応し学校の方へ既に配布されている。学校教育課としては、手袋、消毒液、非接触型体温計を先般の臨時議会で計上しているが、非接触型体温計については届いていない状況である。

問 既に学校が始まっているが先を見て物品を購入していくことが重要であり、学校現場から必要なものについて必要な時期までに納入し、教育現場の声を行政に反映していただきたい。

答 現場の声を一番に考え、そのことが実現可能かどうか判断しながら現在進めているところである。

問 現場の先生が、その担任のクラスの学力が低いことや

コロナの影響で授業でペア・グループで教えあひもできないことなど、今までのやり方が通用しなくなつたとの悩みを抱えていることから、現場の声を聞きながらやってほしい。また、子どもを少なくして、どこで勉強につまづいているか分かるようにしていく、このような取組を実施していただきたい。

答 子どもの学力保障のために、理解にやや時間のかかる子においては、宿題の量を考えたり、特別支援教育支援員のサポートを借りながら進めている。

問 中学校の修学旅行が3月から9月に変更になったが、

行き先の変更があるのか。

答 当初の予定は関東方面。現在も東京でコロナ感染者が出ている状況であり最終的には様子を見ながら判断すると思うが、行き先については、現在のところ変更せず9月頃ということである。

ている。

問 学校の登下校時において、マスクの着用は指導しているのか。

答 熱中症の恐れがあるため、息が苦しく感じられた場合や間隔が十分に確保できる場合などはマスクを外しても構わないよう指示をしている。

問 プールの中止について、いろんなことを見極めての判断なのか。

答 プールについては、スポーツ庁・文部科学省からのガイドラインに従い校長会において審議した結果、子どもたちの安全確保が難しいことから中止とした。

問 印鑑条例の改正で、成年被後見人が印鑑登録ができるようになることだが、契約等をする場合は後見人が代行するため、何のために必要な改正なのか。

答 改正の主旨は、「成年被後見人」は一律に印鑑の登録ができない規定を、「意思能

力を有しないも者」と改正することにより、要件を満たした成年被後見人は印鑑登録を可能にするものである。

総務産業建設常任委員会 (6月17日)

問 町商工会に町職員を派遣する経緯は。町商工会から依頼され派遣したのか。

答 町商工会から希望があり、商工会と町が協議をして、職員の派遣を決定した。

問 新型コロナウイルスの影響等による、古墳の湯の利用人数の推移は。

答 指定管理者から、4月は前年同月比2／3割減の報告を受けている。

問 4月から古墳の湯の指定管理者になった事業者について、挨拶等の声かけが足りないと、利用者から不満の声が寄せられているが、町としてどのように考えているのか。

答 状況を確認し、改善するよ

う教育したい。



▲志乎・桜の里温泉 古墳の湯

問 サウナ室の壁板は、指定管理者の交代に合わせて張り替えられたらしいが、張り替えてすぐにヤニが吹き出していると聞いている。どんな部材で施工されたのか。

答 サウナ室の壁板については、劣化が激しかったため張り替えを実施した。部材の種類は、同種の部材であると思っています。ヤニの件については、指定管理者から報告を受けておらず、状況を

確認のうえ対処したい。

問 サウナ室は利用が禁止された期間があり、その際、関係当局の指導に基づき利用を禁止していますという張り紙がされていたが、新型コロナウイルス拡大防止対策による利用禁止ではないのか。そういう誤った標記は、町としても確認するべきではないか。

答 内容を確認し、誤った標記がされていたのであれば、以後改めたい。

問 黒いちじくのPRで業務委託費を計上しているが、宝達志水町はルビーロマンをはじめ、他にも農産物がある。JAなどの関係機関と連携しながら施策を展開できるよう、当初予算要求してもらいたい。

答 今回は、黒いちじくに特化したものであるが、今後は、当町の強みのある農産物から取組をしていきたい。

問 クマの目撃情報が度々ある柳瀬地内の国道249号か

ら里山海道の一带は、葉たばこなど畑作物の産地であったが現在は衰退し荒れた状態である。農業の再興などを行うことでクマが出没しにくい環境整備を図ることにより、住民が安心できる取組を行ってもらいたい。

答 クマの対応は、県のツキノワグマ出没対応マニュアルに基づき対応している。現在、捕獲用の檻3基を設置済みである。また、緩衝帯の事業について、専門家も含め、検討する。

問 松くい虫対策の状況は。

答 伐倒駆除を今浜海岸周辺で行い、樹幹注入を米出のゴルフ場周辺で行っている。

問 抵抗性の松の取組状況は。また、松林の再生を図ってもらいたい。

答 抵抗性の松の取組について、県と協議していきたい。松林の再生については、検討したい。

委員会活動レポート

■議会改革特別委員会

～議会中継について～

昨年度から、議会改革特別委員会を3回開催し、一定の結果を出しました。

現在、議会の中継については、ケーブルテレビの録画放送のみであるが、今後は、生中継をすることで準備を進めていくこととし、ケーブルテレビ及びYouTubeによる生中継ができるよう施設整備を町に要望しました。

今後も、諸課題について、協議していきます。

議会改革特別委員会

本町の開かれた議会を、信頼される議会を目指し、議会中継について、積極的な改善に努めるために開催しております。



お知らせ

9月定例会本会議の日程

令和2年第3回町議会定例会

〔開会〕9月10日(木) 午前10時 〔再開〕9月18日(金) 午後2時

※会議の都合により、開催時間が遅れる場合があります。

※新型コロナウイルス感染防止のため、人数を制限するなど感染防止対策にご協力ください。

◎傍聴のご案内

議会では、予算や条例をはじめ、町のさまざまな案件を議論し、採決が行われます。傍聴は、町議会の活動にふれることのできる身近な方法ですので、ぜひお越しください。

■受付 会議当日、午前8時30分から議会事務局（庁舎3階）で受付いたします。

■手続 傍聴受付票にご自分の住所、氏名、年齢を記入し、傍聴券の交付を受け傍聴席へお入りください。

令和2年8月1日 発行

■発行 宝達志水町議会

責任者／議長 柴田 捷

〒929-1492 石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1

TEL(0767)29-8310 (直通) / FAX(0767)29-4623

E-mail gikai@town.hodatsushimizu.lg.jp

■編集責任者／塚本 勇仁

●議会だよりへのご意見、ご感想がありましたら、電話、FAX、Eメールなどでお寄せください。

広報編集特別委員会

委員長 塚本 勇仁

副委員長 小島 昌治

委員 守田 幸則

委員 土上 猛

委員 林 稔



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会

この広報は高精細340線で印刷したものです。